

東北地方 1 か月予報

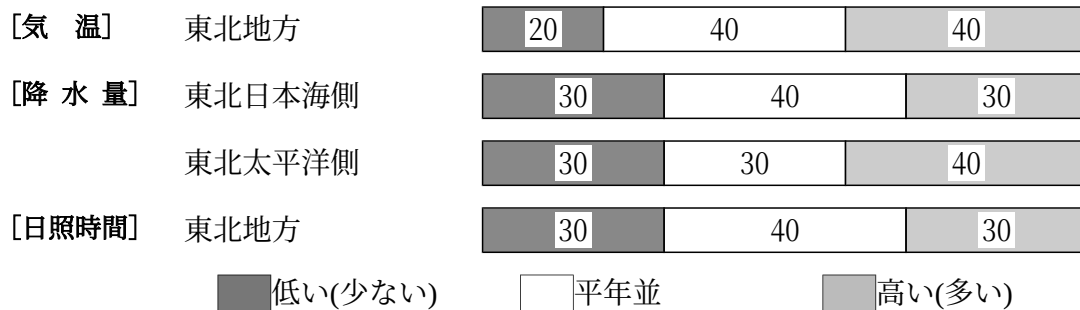
(11月3日から12月2日までの天候見通し)

平成19年11月2日
仙台管区气象台発表

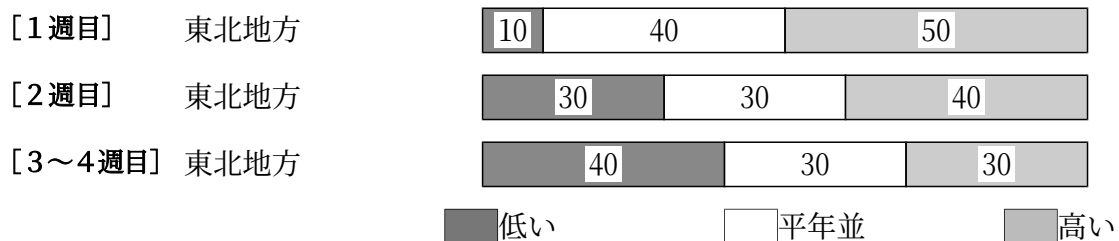
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。週別の気温は、1週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 11月 3日(土) ~ 12月 2日(日)
1週目 : 11月 3日(土) ~ 11月 9日(金)
2週目 : 11月10日(土) ~ 11月16日(金)
3~4週目 : 11月17日(土) ~ 11月30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は11月9日
3か月予報: 11月22日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	6.1	131.8	86.9	8.5	6.9	4.9
深浦	7.1	148.9	66.6	9.5	7.9	5.9
むつ	5.9	115.3	102.4	8.2	6.7	4.8
八戸	6.3	59.2	134.9	8.6	7.1	5.1
秋田	7.3	186.8	80.4	9.6	8.1	6.1
盛岡	5.3	91.3	115.7	7.6	6.2	4.1
大船渡	7.9	99.6	138.1	10.1	8.7	6.8
宮古	7.4	81.4	146.4	9.5	8.3	6.3
仙台	8.8	62.7	140.1	11.0	9.6	7.6
石巻	8.0	62.6	148.4	10.3	8.8	6.8
山形	6.8	78.6	97.4	9.0	7.7	5.7
新庄	5.9	195.6	59.6	8.1	6.7	4.8
酒田	8.6	227.8	76.4	10.8	9.4	7.5
福島	8.6	60.4	129.3	10.8	9.5	7.4
若松	6.6	75.2	86.7	8.9	7.6	5.4
白河	7.3	62.1	147.3	9.5	8.2	6.0
小名浜	10.4	84.5	161.6	12.5	11.3	9.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.6	80～107	96～105
東北日本海側	-0.4～+0.6	90～107	95～105
東北太平洋側	-0.5～+0.7	69～107	95～105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 11 月 2 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (11 月 3 日～12 月 2 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

1 週目 (11 月 3 日～11 月 9 日) :

東北部では、明日 (3 日) は気圧の谷の影響により曇りや雨のところもありますが、その後は高気圧におおわれて晴れる日が多いでしょう。東北南部では、期間の中頃に気圧の谷の影響で曇りや雨の日がありますが、そのほかの日は高気圧におおわれて晴れる日がある見込みです。

なお、期間のはじめ、東北部の山沿いでは雪の降るところがあるでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

2 週目 (11 月 10 日～11 月 16 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (11 月 17 日～11 月 30 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

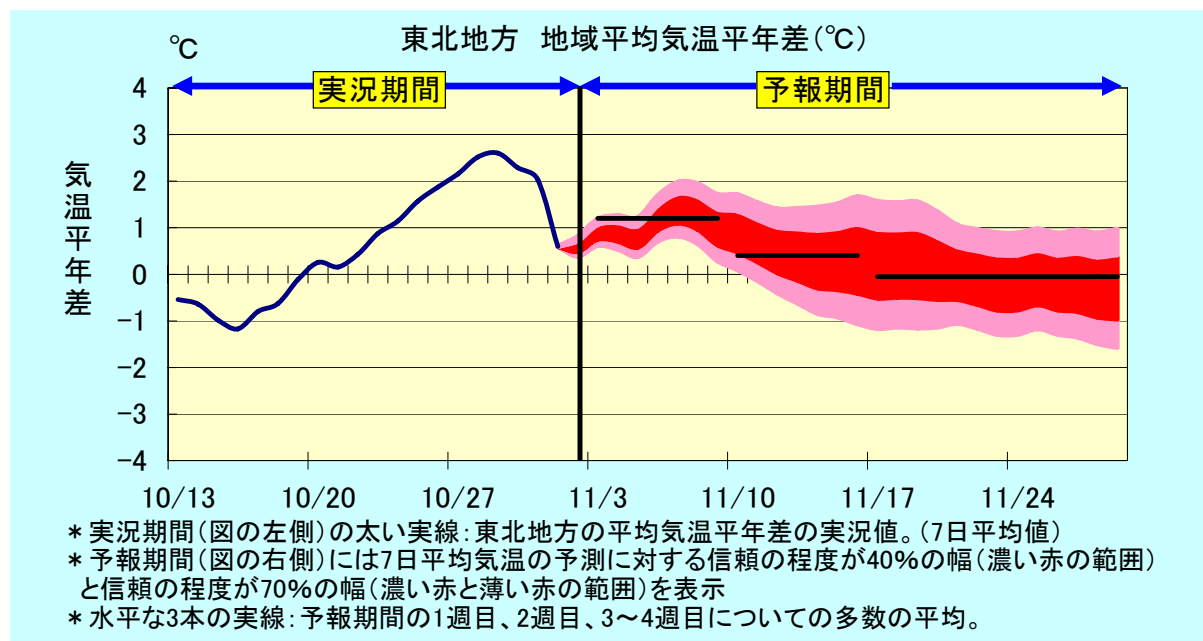
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	8.5 日	3.1 日	2.1 日	3.3 日
東北太平洋側	16.5 日	4.4 日	4.1 日	8.0 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を上回るが、2 週目と 3～4 週目は平年並付近の予想となっている。

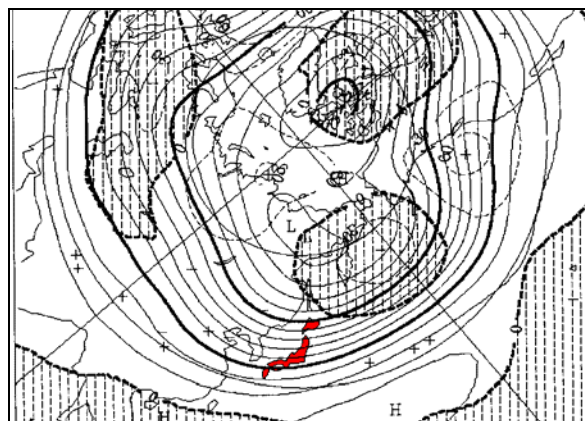


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

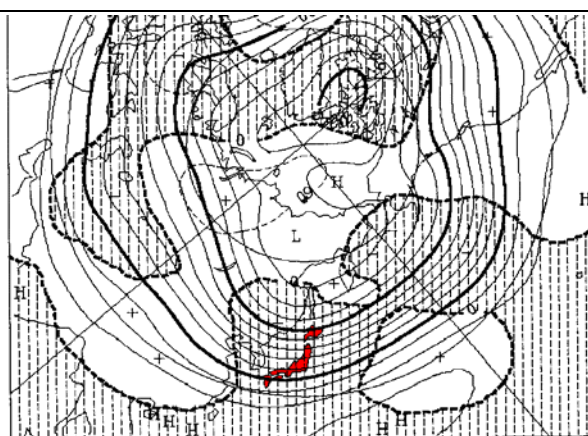
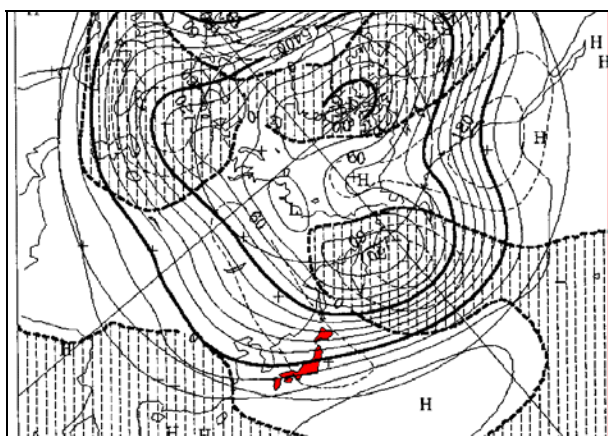
1か月平均：日本付近は正偏差だが、北海道の北は負偏差。東北地方は平均的には高温傾向だが、寒気の影響を受ける時期もある見込み。

1週目：日本付近は正偏差で高温傾向が予想される。中国大陸南部が負偏差で日本の南は西谷傾向となり本州南岸沿いは前線帯になりやすい。東北地方も前線の影響を受けることがあり、天気は数日の周期で変わる見込み。

2週目：1週目と異なり、日本付近は負偏差。このため東北地方は寒気の影響を受け低温になる可能性もあるが、大気下層の温度予想 (図略) では平年よりやや高いことから、一時的には寒気が南下することはあるものの、高温の確率をやや大きく考える。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

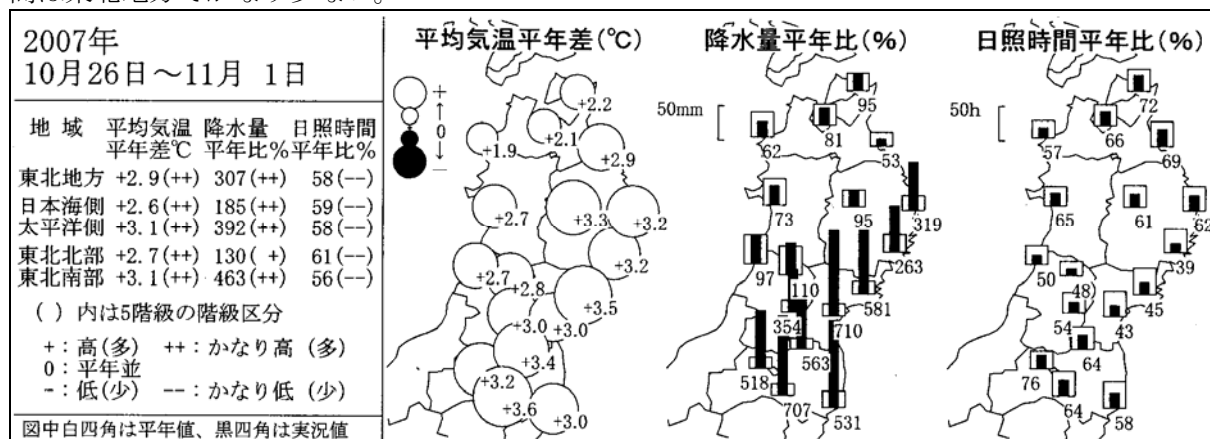
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (10月26日～11月1日) の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。26～27日にかけては台風第20号が関東沖を北東進した影響で本州南岸の前線の活動が活発となり、東北南部を中心に大雨となった。また、南からの暖かい空気が入った影響により、気温の高い日が続いた。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)